



ユーザーガイド

Protector Suite 2009



この資料の記載情報については、正確性と信頼性を期していますが、Upek, Inc は、このような情報を使用した結果について、またこのような情報を使用することから生じる第三者の特許またはその他の権利の侵害に対して責任を負わないものとします。いかなるライセンスも、暗黙的にまたは Upek, Inc. の特許または特許権のもとで付与されることはありません。この資料で言及している仕様は、事前の通知なく変更されることがあります。この資料の情報は従来の資料の情報に優先し、置き換わるものとします。Upek, Inc の製品は、Upek, Inc の書面による明示的な承認がない限り、生命維持装置または生命維持システムの重要なコンポーネントとして使用することは許可されません。

Upek ロゴは Upek, Inc の登録商標です。TouchChip、TouchStrip、PerfectPrint、PerfectMatch、PerfectTrust、Protector Suite、および Protector Suite QL、Protector Suite 2009 は Upek, Inc. の商標または登録商標です。本書に記載されている他のすべての製品は、各社の商標であり、そのように扱われる必要があります。

目次

1	インストール	1
1.1	Protector Suite 2009 のインストール	1
1.2	Protector Suite 2009 のアンインストール	1
2	はじめに	3
2.1	指紋の登録	3
3	認証	4
3.1	指紋の管理	4
3.1.1	指紋の登録	4
3.1.2	指紋の追加または削除	6
3.2	状況	7
3.3	複数要素	8
3.4	アカウント操作	10
3.4.1	エクスポート	10
3.4.2	インポート	11
3.4.3	削除	11
3.4.4	バックアップパスワード	12
3.4.5	Windows パスワードを表示	13
4	アプリケーション	14
4.1	アプリケーションランチャー	15
4.1.1	指紋とアプリケーションの関連付けの作成	16
4.1.2	関連付けられたアプリケーションの管理	17
4.2	パスワードバンク	18
4.2.1	Web ページとダイアログの登録	18
4.2.1.1	登録ウィザード	20
4.2.2	登録のリプレイ	22
4.2.3	登録の管理	22
4.2.4	設定	24
4.3	ストロングパスワードジェネレータ	25
4.3.1	ジェネレータ	25
4.3.2	生成されたパスワード	26
4.4	暗号化アーカイブ	28
4.4.1	File Safe	28
4.4.1.1	File Safe の作成	28
4.4.1.2	File Safe の管理	29
4.4.1.3	File Safe のロックとアンロック	32
4.4.1.4	File Safe 内のファイルの解読	32
4.4.2	Personal Safe	33
4.5	E-Wallet	34
4.5.1	E-Wallet レコードの作成	35
4.5.2	E-Wallet レコードの管理	36
4.5.3	E-Wallet を使用したフォーム入力	37
4.6	バイオメトリックメニュー	37
5	設定	40
5.1	Windows ログオン	40
5.1.1	パワーオンセキュリティ	42
5.2	ストレージインスペクタ	42
5.3	スキンの選択	43
5.4	音声	43
5.5	スクロール	44
5.6	更新	44
5.7	詳細設定	45

5.7.1	ポリシー	45
5.7.2	生体認証の設定	47
5.7.3	センサーの調整（オプション）	47
5.7.4	信頼されたプラットフォームモジュール TPM（オプション）	47
6	他のツール	48
6.1	指紋チュートリアル	48
6.2	システムトレイアイコン	49
6.3	ヘルプの使用	49
6.4	紹介画面	50
6.5	指紋読み取り装置の情報パネル	50
6.6	他のユーザーの管理	50



第1章 インストール

1.1. Protector Suite 2009 のインストール

Protector Suite 2009 は、Windows XP または Windows Vista と Microsoft .NET 3.0 以降がインストールされた任意のコンピュータにインストールできます。Protector Suite 2009 のインストールまたはアンインストールには管理者権限が必要です。Protector Suite 2009 がコンピュータにプリインストールされている場合は、この章を飛ばして先に進んでもかまいません。

Protector Suite 2009 をインストールするには：

1. Protector Suite 2009 の自動実行ウィンドウが表示されたら、[ソフトウェアインストール] をクリックします。この画面が表示されない場合は、インストールフォルダの Setup32.exe または Setup64.msi を手動で実行します。
2. [次へ] をクリックして続行します。
3. インストールフォルダを確認するか、[参照] ボタンをクリックして別のフォルダを選択します。
4. 「[アプリケーションインストールの準備完了]」ダイアログが表示されます。[次へ] をクリックしてインストールを開始します。Windows Vista でのインストール時は、インストールの続行を確認するプロンプトが表示されます。
5. インストールが完了したら、[完了] ボタンをクリックします。
6. プロンプトが表示されたら [はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。Protector Suite 2009 の使用を開始する前にコンピュータを再起動する必要があります。

これでインストールは完了です。コンピュータを再起動すると、Windows への指紋ログオンが有効になります。ソフトウェアの使用を開始するには、指紋を登録する必要があります。指紋の登録を参照してください。



注意

インストール時に、すべての必要なデバイスドライバがインストールされます。外部の指紋センサーを使用する場合は、インストールが完了しコンピュータを再起動したあとでセンサーを接続することをお勧めします。

1.2. Protector Suite 2009 のアンインストール

Protector Suite 2009 をアンインストールするには：

1. [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。
2. [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックします (Windows Vista の場合は [プログラムと機能])。
3. [Protector Suite 2009] を選択し、[変更] ボタンをクリックします。
4. [削除] ボタンをクリックします。
5. コンピュータに保存されている Protector Suite 2009 のデータの扱いを指定するよう求められます。次の 2 つの選択肢があります。

- ・ Protector Suite 2009 のデータを後で使用できるように残します。・

このオプションを選択すると、後で Protector Suite 2009 を再インストールした場合に、登録済みの指紋を引き続き使用してコンピュータにログインして、指紋アプリケーションのデータにアクセスできます。

- ・ すべての Protector Suite 2009 ・ データをコンピュータから削除します。・ ・ ・

指紋アプリケーション内のすべてのデータと登録済みの指紋は、完全に削除されて元に戻すことはできません。

6. [次へ] をクリックして続行します。
7. アンインストールダイアログが表示されます。アンインストールを続行するには、[次へ] をクリックします。アンインストールを中止するには、[キャンセル] をクリックします。
8. アンインストールが完了したら、[完了] をクリックします。
9. [はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

第2章 はじめに

Protector Suite 2009 は、指紋認証を通じてデータのセキュリティを保護する生体認証ソフトウェアです。指紋認証を別のユーザー認証方式（スマートカード、PIN、TPM、指紋リーダーのキー、Windows パスワードなど）と組み合わせると、セキュリティをより強化することができます。指紋認証は、指紋センサーで指をスキャンすることで実行します。

ソフトウェアをインストールし、コンピュータを再起動したら、ユーザー名、パスワードおよび指紋と、自動的に生成されるセキュリティキーとの関連付けを作成するために指紋を登録する必要があります。すべてのデータはユーザーパスポートに格納されます。

この手順を“指紋の登録”といいます。登録方法については、指紋の登録を参照してください。

登録後、指紋を使用して以下のことを行えるようになります。

- ・ Windows ログオンパスワードの代用（Windows ログオンを参照）
- ・ ブート時のコンピュータの保護（パワーオンセキュリティを参照）
- ・ 指紋センサーによる希望のアプリケーションの起動（アプリケーションランチャーを参照）
- ・ 登録 Web サイトやアプリケーションのパスワードを指紋で代用（パスワードバンクを参照）
- ・ 強力で複雑なパスワードの生成（ストロングパスワードジェネレータを参照）
- ・ ファイルおよびフォルダの暗号化（暗号化アーカイブを参照）
- ・ クレジットカード情報や口座番号などの個人情報の保護（E-Walletを参照）
- ・ ポップアップメニューから Protector Suite 2009 の機能へのすばやいアクセス（バイオメトリックメニューを参照）

2.1. 指紋の登録

Protector Suite 2009 では、各ユーザーの識別にユーザーアカウントまたは“パスポート”を使用します。パスポートには、ユーザー認証に使用される生体認証用の指紋データが格納されています。ソフトウェアを初めて使用するときには、パスポート用に指紋のサンプルを作成する必要があります。この処理を“指紋の登録”といいます。

新しいユーザーパスポートを作成するには（指紋の登録）：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...]を選択します。
 - ・ または指をスキャンして、[今すぐ指紋を登録する]リンクを紹介画面でクリックします。
2. 認証します（Windows パスワードが必要になることがあります（設定されている場合））。詳細については、指紋の登録を参照してください。



ティップ

指紋のスキャンで問題が発生した場合は、指紋チュートリアルを参照してください。

第3章 認証

〔認証〕セクションでは、自分のユーザーアカウントを管理できます。指紋テンプレートを登録または削除したり、ユーザーアカウント全体をインポート、エクスポート、または削除したりできます。ここではバックアップパスワードも設定できます。

Protector Suite 2009 の使用を開始する前に、自分の指を登録して指紋テンプレートを作成する必要があります。使用を開始するには、指紋の登録を参照してください。

3.1. 指紋の管理

Protector Suite 2009 の使用を開始する前に、自分の指を登録する必要があります。指紋の登録は、ユーザー名、パスワードおよび（元の画像の再現ができないように電子化された）指紋と、自動生成されたセキュリティキーとの関連付けを作成するプロセスです。すべてのデータは指紋パスポートに格納されます。

指紋認証をスマートカード認証、PIN 認証、または Windows パスワードと組み合わせると、セキュリティをより強化することができます。認証方法（指紋 + スマートカードなど）を複数要素 ページで選択できます。詳細については、複数要素を参照してください。

3.1.1. 指紋の登録

新しいユーザーパスポートを作成するには（指紋の登録）：

1. 外付け指紋センサーを使う場合、そのデバイスを接続します。必要なドライバはすべて Protector Suite 2009 と共にインストールされています。通常は、センサーが接続されて使用する準備ができているという情報メッセージが、画面の右下に表示されます。
2. 〔登録〕を起動するには、次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして、[今すぐ指紋を登録する] リンクを紹介画面でクリックします。
3. 使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書をよくお読みください。メモ：この製品を使用するためには使用許諾契約書に同意する必要があります。[受け入れる] をクリックして継続するか、使用許諾契約書に同意しない場合は、[受け入れない] をクリックしてアプリケーションを終了します。
4. デバイスがデバイスメモリへの登録に対応している場合、認証データをデバイスメモリに保存するか、ハードディスクに保存するかを選択できます。登録タイプを選択します：
 - ・ [バイオメトリックスデバイスへの登録]。デバイスメモリへの登録を選択した場合、データにアクセスする際に対応する指紋デバイスが必要になります。認証情報は、指紋認証ユーティリティによって生成されたソフトウェアの暗号化キーだけではなく、デバイスから直接取得したハードウェアの暗号化キーによっても保護されます。唯一の制限は、デバイスメモリのサイズに応じた数の指紋しか登録できないことです。
 - ・ [ハードディスクへの登録]。複数のユーザーの大量の指紋を登録する予定の場合は、ハードディスクへの登録が必要になります。[ハードディスクへの登録] を選択した場合、デー

タはソフトウェアキーで暗号化されます。生体認証は任意の指紋読み取り装置で行うことができます。

⚠ 重要項目

選択した登録タイプを後から変更することはできません。変更する唯一の方法は、Protector Suite 2009 をアンインストールして、再インストールすることです。

5. [適用] をクリックして続行します。
6. Windows パスワードを入力して、[送信] をクリックします。
7. 両手を示すダイアログが表示されます。該当する指の上のボタンをクリックして、登録する指を選択します。



8. 選択した指を指紋センサーでスキャンします。品質のよい一致する指紋が必要です。これらのサンプルは、1 つの指紋パスポートに統合されます。作成したサンプルが一致しない場合は警告が表示されるので、手順を繰り返す必要があります。



💡 ティップ

指紋のスキャンで問題が発生した場合は、指紋チュートリアルを参照してください。

9. (オプション - お使いのコンピュータでサポートされている場合のみ) 指が登録されたら、パワーオンセキュリティ ボタンが各指の上に表示されます。対応する指紋は、システム起動時に[パワーオン] および/またはハードドライブのパスワードの代わりに使用されます。
10. 別の指を選択してその指紋を登録します。指をケガした場合を考慮し、複数の指を登録することを強くお勧めします。
11. [保存して続行] をクリックして、指紋テンプレートの作成を完了します。
12. 指紋ソフトウェアの現在の状態を概観できる 状況 ページが表示されます。バックアップパスワードを設定することを強くお勧めします。このパスワードは、指をケガした場合や生体認証デバイスに問題が発生した場合に、指紋認証の代替手段として指紋ソフトウェア全体にわたって使用されます。

i 注意

パスポートは、Windows ユーザーごとに 1 つしか作成できません。ユーザーアカウントを作成するには、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[ユーザーアカウント] をクリックします。画面の指示に従って操作してください。

3.1.2. 指紋の追加または削除

後でユーザーアカウントに指を追加できます。ケガをした場合に備えて、追加の指を登録しておくことを強くお勧めします。指を 1 本ずつ削除することも、アカウント全体 (すべてのアプリケーションデータを含む) を削除することもできます。

既存ユーザーの指紋を追加または削除するには (指紋の管理) :

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] 。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。

- ・ または指をスキャンして **バイOMETリックメニュー** を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
- 2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
- 3. [認証] - [指紋の管理] の順にクリックします。
- 4. 両手を示すダイアログが表示されます。
- 5. 新しい指紋を登録するには :
 - ・ 該当する指の上のボタンをクリックして、登録する指を選択します。
 - ・ 選択した指をスキャンして、テンプレートを完成させます。品質のよい一致する指紋が必要です。
- 指紋を削除するには :
 - ・ 該当する指の上のボタンをクリックして、削除する指を選択します。
 - ・ [はい] をクリックします。
- 6. [保存して続行] をクリックして完了します。

既存のユーザーアカウントを削除するには (すべてのユーザーデータ) :

⚠ 重要項目

これにより、指紋だけでなくすべてのユーザーデータを含むユーザーアカウント全体が一括して削除されます。

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] 。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして **バイOMETリックメニュー** を表示して、[コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
3. [認証] - [アカウント操作] - [ユーザーデータの削除] に移動します。
4. [はい] をクリックして確定します。

3.2. 状況

[状況] ページでは、ソフトウェア設定の概要が表示され、登録後に使用できる指紋アプリケーションが通知されます。

赤色のアイコンは、設定が最適な状態でないことを示します。黄色は変更が必要なことを示し、緑色は正しい設定であることを示します。



- ・ [バックアップパスワード]。バックアップパスワードを設定して、[適用] ボタンをクリックします。バックアップパスワードの詳細情報を確認してください。
- ・ [指紋ログオン] は、指紋の登録後に自動的に設定されます。コンピュータを再起動し再度ログオンするときは、指紋をスキャンすると自動的にログオンできます。[変更] をクリックして、Windows ログオン ページに移動して、ログオン設定を編集します。
- ・ [自動バックアップ] は、指紋を登録してバックアップパスワードを設定すると自動的に設定されます。ユーザーパスポートに変更を加えるたびに、データがバックアップされます。[変更] をクリックして、エクスポート に移動して、エクスポートモードを設定します。
- ・ [登録されている指の数] では、現在のユーザーによって登録された指紋の数が表示されます。ケガをした場合に備えて、追加の指紋を登録しておくことをお勧めします。[変更] をクリックして、指紋の登録 に移動して、追加の指紋を登録します。
- ・ [アプリケーションまたはドライバの更新]。更新プログラムが利用可能かどうかを示します。[変更] をクリックして、更新 に移動して、新しい更新プログラムをダウンロードするか、更新プログラムの自動チェックを設定します。

概要ページの第 2 部では、指紋の登録時に使用できるアプリケーションに関する情報が示されます。アプリケーション画像の上にマウスカーソルを合わせると、各アプリケーションの説明が表示されます。画像をクリックすると、そのアプリケーションのページに移動します。

3.3. 複数要素

Protector Suite 2009 のセキュリティは、暗号化を適用することによってさらに向上します。使用できる暗号の種類はハードウェアによって異なります。

認証方式を選択します。次回に認証を求めるプロンプトが表示されたときに、選択した認証方式が要求されます（コンピュータへのログオンや Web ページの登録など）。これはすべての登録されている指紋に適用されます。

複数要素方式を選択するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...]を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...]を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [認証] - [複数要素] の順にクリックします。
4. 複数要素方式を選択します。
 - ・ 指紋： 指紋認証のみが要求されます。
 - ・ 指紋 + 指紋リーダーキー： ユーザーの機密データは、指紋デバイスに格納されているキーを使用して暗号化され、指紋認証に合格した場合にのみアクセス可能になります。ケガをした場合やデバイスの問題が発生した場合は、バックアップパスワードを使用できます。バックアップパスワードを設定しておかないと、認証ハードウェアが故障した場合、データが失われてしまう恐れがあります。
 - ・ 指紋 + スマートカード： 指紋認証と登録済みスマートカードの挿入の両方が要求されます。ケガをした場合やデバイスの問題が発生した場合は、バックアップパスワードを使用します。次のダイアログで、スマートカードリーダーを選択し、カードを挿入します。PIN を入力します。PIN は保存され、認証時に自動的にリプレイされます。
 - ・ 指紋 + スマートカード + PIN： この組み合わせは、認証が必要になるたびにユーザーに PIN の入力を要求することで、これまでの方式のセキュリティを強化します。ケガをした場合やデバイスの問題が発生した場合は、バックアップパスワードを使用します。
 - ・ 指紋 + Windows パスワード： 認証のたびに、指紋認証と Windows パスワードの入力が要求されます。
 - ・ 指紋 + 指紋リーダーキー（TPMあり）： ハードウェアベースの強化されたセキュリティです。TPM セキュリティチップと指紋読み取り装置の通信チャネルを暗号化することにより、機密データのセキュリティをさらに高めます。最高のセキュリティを必要とする場合にお勧めの方式です。
 - ・ 指紋 + TPM キー： ユーザーの機密データは、TPM セキュリティチップによって保護されます。非常に使いやすいのでお勧めです。
 - ・ 指紋 + TPM キー（PIN あり）： ユーザーの機密データは、TPM セキュリティチップにより PIN 付きで保護されます。PIN は ID 認証のたびに入力する必要があります。セキュリティを高めるためにはお勧めの方式です。
5. バックアップパスワードをまだ作成していない場合は、今すぐ作成することを強くお勧めします。[バックアップパスワードの作成] リンクをクリックして、新しいバックアップパスワードを入力します。バックアップパスワードを入力および確認入力します。このパスワードは、指を

ケガした場合や生体認証デバイスに問題が発生した場合に、指紋認証の代替手段として指紋ソフトウェア全体にわたって使用されます。 バックアップパスワード の詳細情報を確認してください。

6. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

3.4. アカウント操作

現在のユーザーデータのインポート、エクスポート、または削除を行います。

これらの操作は、現在のユーザーアカウント（パスポート）に影響を与えます。個別の指紋を追加または削除するには、指紋の登録に移動してください。



3.4.1. エクスポート

既存のユーザーデータ（指紋、暗号化キー、ログオン資格情報など）はファイルにエクスポートしたり、指紋認証ソフトウェアに再度インポートしたりできます。ファイルは暗号化されて、バックアップパスワードで保護されます。 バックアップパスワードの詳細情報を確認してください。

エクスポートモードを設定するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して、[コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。

3. [認証] - [アカウント操作] - [ユーザーデータのエクスポート] を選択します。
4. バックアップパスワードが設定されていない場合は、今すぐパスワードを設定してください。
バックアップパスワードの詳細情報を確認してください。
5. バックアップモードを選択します：
 - ・ [今すぐエクスポート] ボタンをクリックして、バックアップパスワードを入力して直ちにエクスポートを実行します。エクスポート先フォルダを選択して、ファイル名を指定します。
 - ・ 自動バックアップを選択してください。自動エクスポートを有効にすると、パスポートに変更が加えられるたびに、パスポートがバックアップされます（キー、パスワード、登録済みの指などを含むすべてのユーザーデータ）。バックアップファイルの既定の場所は、C:\Users\¥your_username¥AppData¥Local です。10分毎の自動バックアップの後に、バックアップパスワードの入力が求められます。[適用] をクリックして変更内容を保存します。



注意

システムクラッシュが発生した場合、システムの再インストールが必要になった場合、またはデータを誤って削除した場合や失った場合に備えて、バックアップ目的のパスポートをエクスポートしておくことを強くお勧めします。

3.4.2. インポート

ユーザーデータ（ユーザーパスポート）をインポートするには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニューを表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [認証] - [アカウント操作] - [インポート] を選択します。
4. パスポートファイル (*.vtp) を参照します。
5. バックアップパスワードを入力して [OK] をクリックします。



注意

登録ユーザーのパスポートはインポートできません。パスポートをバックアップで置き換えるには、まず現在のパスポートを削除する必要があります。

3.4.3. 削除

すべてのユーザーデータ（既存のユーザーパスポート）を削除するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]。

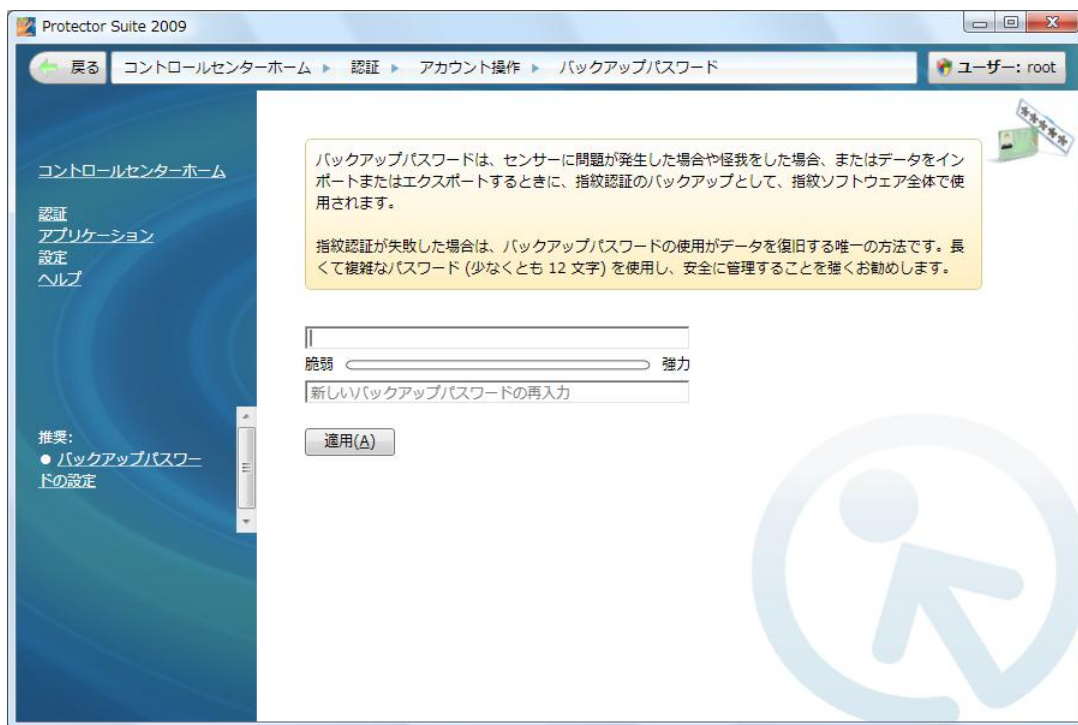
- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
 3. [認証] - [アカウント操作] - [ユーザーデータの削除] の順にクリックします。
 4. [はい] をクリックして確定します。

⚠ 重要項目

これにより、現在のユーザーのすべてのデータが削除されます。 エクスポート に移動して、データを後で使用できるようにバックアップしてください。

3.4.4. バックアップパスワード

ここでは、バックアップパスワードを設定または編集できます。このパスワードは、指紋認証の代替手段として指紋ソフトウェア全体にわたって使用されます（エクスポートされたファイルなど）。



⚠ 重要項目

バックアップパスワードを使用すると、デバイスで問題が発生したときに、データにアクセスできるようになります。長くて複雑なパスワード（少なくとも 12 文字）を使用し、安全に管理することを強くお勧めします。パスワードが短いとセキュリティが低下する可能性があります。

バックアップパスワードを設定するには：

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]。
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
 3. [認証] - [アカウント操作] - [バックアップパスワード] に移動します。
 4. バックアップパスワードを入力および確認入力します。
 5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。
- ・ [バックアップパスワードを表示] ボタンをクリックすると、パスワードがプレーンテキストで表示されます。ダイアログがポップアップ表示されて、[表示] をクリックするとパスワードが画面に表示されるので、他人に見られて悪用されないようにしてください。

3.4.5. Windows パスワードを表示

指紋認証の後に自分のパスワードを表示できます。パスワードはプレーンテキストで画面に表示されるため、盗み見られないように注意してください。

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
3. [認証] - [アカウント操作] - [Windows パスワードを表示] を選択します。
4. [表示] ボタンをクリックして、パスワードをプレーンテキストで表示します。
5. 認証 (指をスキャン) します。

第4章 アプリケーション

指紋センサーは、コンピュータの日常作業で使用して最大限に活用してください。データのセキュリティを強化して作業を迅速化するには、指紋認証を使用します。指を登録すると、よく使用する Web サイトやダイアログのパスワードの代わりに指紋を使用したり、指をスキャンするだけでアプリケーションを起動したり、クレジットカード情報や PIN などの安全で便利な保管場所を作成したりできます。

指紋アプリケーション：

- ・ アプリケーションランチャー：指紋をスキャンするだけで希望のアプリケーションを起動できます。
- ・ パスワードバンク：登録 Web サイトやアプリケーションのパスワードを入力する代わりに指紋スキャンを実行できます。
- ・ ストロングパスワードジェネレータ：強力で複雑なパスワードを作成できます。
- ・ 暗号化アーカイブ：個人的なファイルやフォルダの暗号化アーカイブを作成できます。
- ・ E-Wallet：クレジットカード情報や口座番号などの個人情報を保護できると共に、これらの情報を Web フォームに簡単に入力できます。
- ・ バイオメトリックメニューポップアップメニューから Protector Suite 2009 の機能にすばやくアクセスできます。



4.1. アプリケーションランチャー

アプリケーションランチャーは Protector Suite 2009 のオプション機能です。この機能をインストールすると、指をスキャンするだけで、登録済みのアプリケーションおよびファイルを起動できます。アプリケーションを指に関連付けるには、アプリケーションやファイルなどをドラッグアンドドロップ（または参照）すると、次回に割り当て済みの指をスキャンしたときにそのアプリケーションやファイルが自動的に起動されます（たとえば、デスクトップにある“document.txt”というファイルをドラッグアンドドロップすると、次回に割り当て済みの指をスキャンしたときにそのファイルがテキストエディタで自動的に開かれます）。



注意

アプリケーションランチャーを使用するには、2 つ以上の指紋を登録する必要があります。1 つの登録された指は バイオメトリックメニューの表示用として予約されます。



4.1.1. 指紋とアプリケーションの関連付けの作成

アプリケーションを指に関連付けるには：

- 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...]を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...]を選択します (次の手順はスキップします)。
- 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
- [アプリケーション] - [アプリケーションランチャー] を選択します。
- 両手を示すダイアログが表示されます。登録したそれぞれの指の上にはボタンがあります。

i 注意

使用できるボタンがない場合は、まず指を登録する必要があります。1 つのボタンしか残ってない場合は、そのボタンは バイオメトリックメニュー 用に予約されているため、追加の指を登録する必要があります。指紋の登録 を参照して指の登録方法を確認してください。

- アプリケーションまたはファイルをボタンにドラッグアンドドロップします。そのアプリケーションのアイコンがそのボタンに表示されます。メニューに表示されている既定のアプリケーションをドラッグアンドドロップできます。[コントロールセンター] は Protector Suite 2009 を起動し、[ロック] はコンピュータをロックし、[ログオフ] は割り当て済みの指をスキャンすることで現在のユーザーをログオフします。

または

指の上のボタンをクリックします。アプリケーションのダイアログが開きます。アプリケーションのタイトルを入力します。起動したいファイルを参照します。これは任意の実行可能ファイル (calc.exe など) でかまいません。希望に応じて、[詳細] オプションに追加のパラメータを入力できます。アプリケーションパラメータの例は、以下を参照してください。

6. [OK] をクリックします。
7. 関連付けが作成されました。次回に割り当て済みの指をスキャンすると、その指に関連付けたアプリケーションが起動されます。

注意

アプリケーションの起動を一時的に無効にする (代わりに バイオメトリックメニュー を起動する) には、Shift キーを押しながら指をスキャンします。

アプリケーションパラメータの例

Web サイトは、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動すると開くことができます。Web サイトのアドレス (www.upek.com など) を [アプリケーションパラメータ] フィールドに入力すると、割り当て済みの指をスキャンするたびにその Web サイトが表示されます。

ファイルは、Microsoft Word ドキュメントなどのアプリケーションによって開くことができます。ファイルへのパスを、"C:\Documents and Settings\your.account\My Documents\document.doc" のように引用符で囲んで入力します。割り当て済みの指をスキャンするたびに、document.doc ファイルが Word で開かれます。1 つのアプリケーションに対して複数のパラメータを使用できます。

4.1.2. 関連付けられたアプリケーションの管理

指とアプリケーションの関連付けを削除するには

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
3. ・ [アプリケーション] - [アプリケーションランチャー] を選択します。
4. 割り当て済みの指の上にあるボタンのアプリケーションアイコンをクリックします。
5. [削除...] をクリックします。
6. [はい] をクリックして関連付けの削除を確認します。この指は別のアプリケーションで使用できるようになりました。

指紋とアプリケーションの組み合わせを編集するには

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
 3. ・ [アプリケーション] - [アプリケーションランチャー] を選択し・ます。
 4. 割り当て済みの指の上にあるボタンのアプリケーションアイコンをクリックします。
 5. 必要な変更を加えます。
 6. [OK] をクリックします。

4.2. パスワードバンク

パスワードバンクは、インストールされると、Web サイトとアプリケーション ダイアログの登録 (ユーザー名、パスワード、および他の設定) を格納します。よく使用する Web サイトや Web アプリケーション (Web メール、銀行口座、e-コマースなど) にセキュリティを確保しながらアクセスできると共に、パスワード、ユーザー名、フォームデータなどを繰り返し入力する手間が省けます。Web ページやダイアログを登録する際に 1 回だけ必要な情報を入力すれば、次回以降、同じウィンドウを開いたときに、センサーを使ってデータをリプレイできるのです。登録済み Web サイトには、バイオメトリックメニューから直接アクセスすることもできます。

パスワードバンクは、Internet Explorer 5.0 以降、および Firefox 1.0 ~ 3.0 をサポートしています。Internet Explorer のサポートは自動的にインストールされます。Protector Suite 2009 を初めて開始するとき、または登録された指紋がない状態で開始するとき、Firefox をサポートするためにプラグインをインストールするかどうかをたずねるプロンプトが表示されます。代わりに、Firefox プラグインのインストールを [アプリケーション] - [パスワードバンク] - [設定] から実行できます。

注意

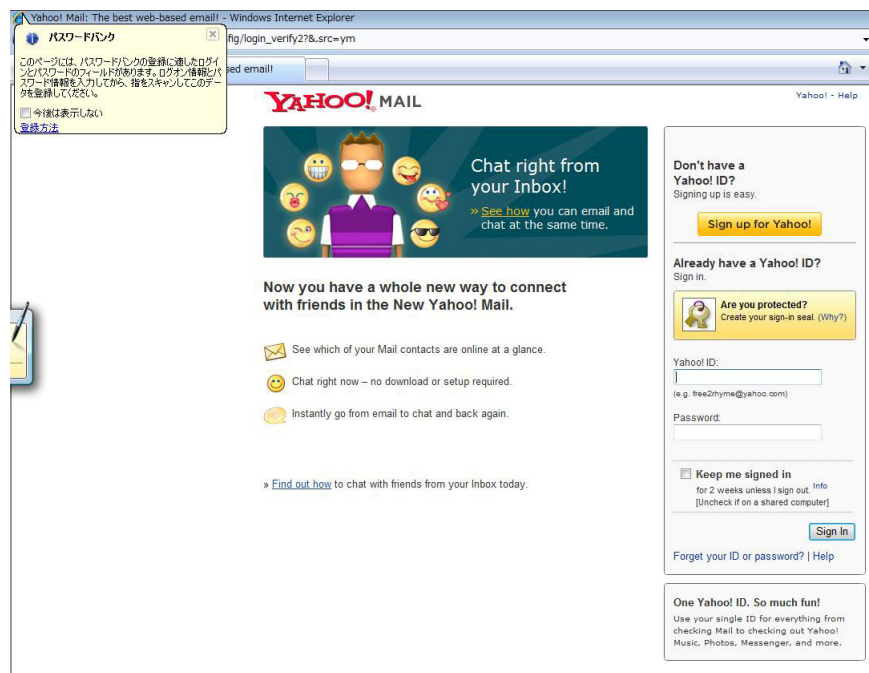
パスワードバンクは、シンプルな Web ページやダイアログの情報 (ログイン資格情報など) を格納することを目的としています。複雑なフォームに自動的に入力するには、E-Wallet アプリケーションを使用してください。

4.2.1. Web ページとダイアログの登録

資格情報 (ユーザー名やパスワードなど) を格納して後でリプレイ (指をスキャンして認証した後に自動的に入力) するには、該当する Web サイトまたはダイアログを登録する必要があります。

新しい登録を作成するには：

1. 登録したい Web ページまたはダイアログを表示します。

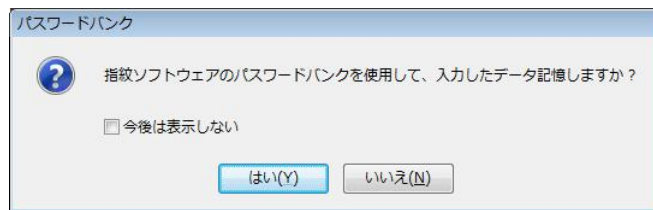


2. ユーザー名、パスワード、およびその他の必要なフィールドを入力します。
3. 登録済みの指をスキャンして、 バイオメトリックメニューを表示します。[登録] を選択します。



または

パスワードフィールドを含む Web ページの場合は、自動的にダイアログが表示され、入力されたデータをパスワードバンクに登録するかどうかたずねられます。[はい] をクリックします。



4. 登録ウィザード（下図参照）が開いて、新しい登録の手順が案内されます。[次へ]をクリックして、登録の内容を確認および編集します。ダイアログの下部にあるチェックボックスを選択して、登録をそのまま保存し、[完了]をクリックしてウィザードをスキップすることもできます。

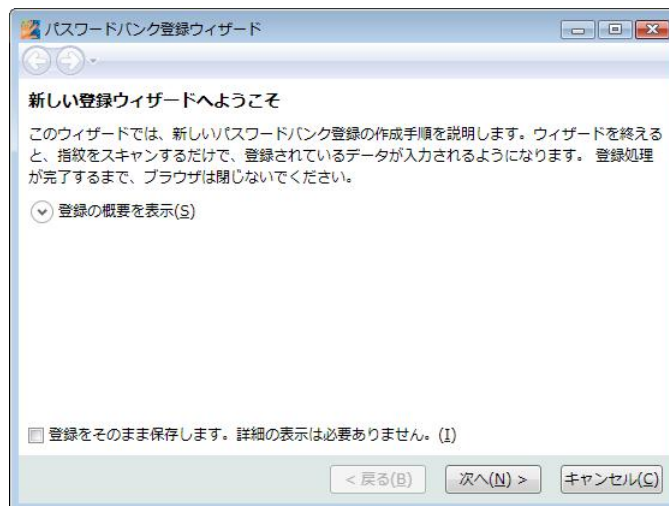
入力したすべてのデータが保存されます。登録を作成したら、登録が作成されたことを確認するヒントがブラウザの隅に表示されます。

- i 注意**
これらのヒントのオン/オフを切り替える場合、または登録を求めるダイアログがオフになっているときに再びオンにする場合は、次の項目を参照してください。 設定

4.2.1.1. 登録ウィザード

登録ウィザードが開いて、新しい登録の手順が案内されます。

1. [次へ]をクリックして、登録の内容を確認および編集します。
2. ダイアログが開いて、Web ページの名前とアドレスが表示されます。 この情報が正しい場合は、[次へ]をクリックします。このページを登録しない場合は、[キャンセル]をクリックしてウィザードを終了し、新しい登録を開始します。



3. [フォームの詳細] ページには、登録されるすべてのアイテムが表示されます。

パスワードバンク登録ウィザード

フォームの詳細

これは、フォーム内にあるすべてのフィールドの一覧です。フィールドの値はカスタマイズできます。たとえば、Windows パスワードや E-Wallet のデータを常にあらかじめ入力しておくことができます。

Field name	Action	Filled value
login	フィールドに入力	username
passwd	フィールドに入力	*****
remMe	コントロールを設定	チェック済み
remPwd	コントロールを設定	未チェック

☒ パスワードフィールドをマスク(M)
☐ フィールドの種類を表示(S)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C)

登録されたフォームフィールドの値を変更できます。[コントロールを設定]を選択して既定値の一覧から選択するか、[このコントロールを設定しない]を選択してこのフィールドの入力を無効にします。

- ・ [フィールドに入力]。このオプションを選択すると、Web ブラウザで入力された値を使用して登録対象が設定されます。必要に応じて、この時点で変更を加えることができます。
- ・ [このフィールドに入力しない]。このオプションを選択すると、登録のリプレイ時にこのフィールドに自動的に何も入力されません。
- ・ 登録のリプレイ時にこのフォームフィールドに入力される Windows ユーザー名、パスワード、またはドメインの入力に使用します。資格情報が変更された場合は、この値が自動的に更新されて、登録を手動で変更する必要がないため、これは便利です。
- ・ フォームフィールドに入力するための ストロングパスワードジェネレータ などの他の指紋アプリケーションを使用して、生成した強力なパスワードをパスワードフィールドに入力することもできます。一覧からアプリケーションを選択します。リストに表示されているアプリケーションだけが現在使用可能です。

i 注意

[パスワードをマスク] チェックボックスをオフにすると、すべてのパスワードがプレーンテキストで表示されます。

4. [次へ] をクリックして続行します。
5. [フォーム送信方法] ページでは、登録したフォームを認証後に送信するかどうかを選択します。フォームに入力するがフォームを送信しない場合は、このフィールドのチェックを外します。

[高度なオプションを表示する] をクリックすると、フォームの送信方法を選択できます。既定では、パスワードバンクは Enter キーが押された場合と同じようにフォームを送信します。これが機能しない場合は、ボタンを手動で選択するためのオプションを選択します。ポインタアイコンをページ上のボタンにドラッグアンドドロップします。このボタンは、ページを送信するために代わりに使用されます。

6. 次のページでは、登録をテストします。このテストでは、新しい登録を Web ブラウザでリプレイできるか試します。登録が想定どおりにリプレイされるかどうかを確認してください。登録に問題がある場合は、戻って登録済みのフィールドを編集するか、トラブルシューティング手順に従ってください。
7. [次へ] をクリックして続行します。
8. 次のページでは、コントロールセンターに表示する登録の名前とフォルダを選択できます。コントロールセンターでは、これらの登録を後で管理できます。
9. [完了] をクリックします。

4.2.2. 登録のリプレイ

登録をリプレイすると、登録済みの Web サイトが起動され、登録済みの資格情報を使用して自動的にログオンされます。

登録済み Web ページをリプレイするには：

1. 登録済みのダイアログまたは Web サイトを表示します。
2. 自分自身を認証（指をスキャン）します。
3. （オプション）登録の送信が可能であることを示す [パスワードバンク] ダイアログが表示されます。[はい] をクリックして登録をリプレイします。この手順を次回スキップするには [今後表示しない] を選択します。
4. 登録内容がリプレイされます。

登録済みの Web サイトの起動には、バイオメトリックメニューを使用することもできます。

1. 指をスキャンして バयोメトリックメニューを表示します。
2. [登録済みサイト] を選択します。登録済みサイトの一覧が表示されます。
3. 表示してリプレイするページを選択します。



ティップ

登録を選択してから、[コントロールセンター] - [アプリケーション] - [パスワードバンク] - [登録の管理] を選択して [リプレイ] ボタンをクリックすることで、登録をリプレイすることもできます。詳細については、登録の管理 を参照してください。

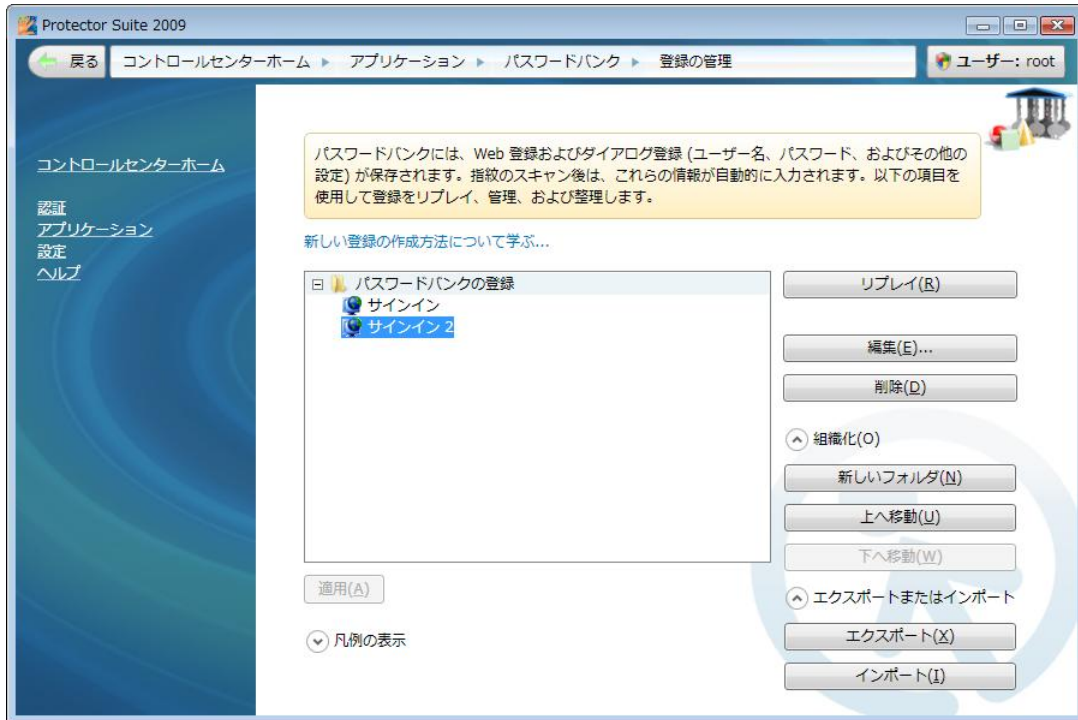
4.2.3. 登録の管理

既存の登録を編集することが必要になる場合があります（メールボックスのパスワードを変更した場合など）。登録を削除したり、登録をフォルダに分けて整理したり、リプレイされる登録の自動送信を有効または無効にしたりすることもできます。別のコンピュータで使用するために登録をエクスポートできます。エクスポートした登録は *.pb または *.xml 拡張子を持つファイルとして保存され、後でインポートすることができます。

登録を管理するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]

- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
 3. [アプリケーション] - [パスワードバンク] - [登録の管理] を選択します。



4. 使用する登録を選択します。
 - ・ [リプレイ] ボタンをクリックして、選択した Web 登録をリプレイします。この登録は既定のブラウザで起動されます。
 - ・ [編集...] ボタンをクリックして保存された登録の詳細を変更します (ユーザー名またはパスワードを変更したので、既存の登録に反映したい場合など)。

ここでは、登録一覧と バイオメトリックメニューに表示される登録名を変更できます。[自動送信フォーム] チェックボックスは、登録のリプレイ後にフォームを自動送信するかどうかを制御します。オンにした場合は、認証 (指をスキャン) した後に登録が自動的にリプレイされます。

すべての登録済みフィールドは編集可能であり、登録のリプレイ方法を変更できます。フィールドの詳細については、パスワードバンクの 登録ウィザードを参照してください。

[適用] をクリックして変更内容を保存します。

- ・ [削除] をクリックして、登録を完全に削除します。
- ・ [組織化...] をクリックして、登録をフォルダに分けて整理したり、一覧内で登録の位置を上下に移動したり、フォルダを作成したりします。同じ構造が バイオメトリックメニューの Web ショートカットに表示されます。

- ・ [インポート] または [エクスポート] をクリックして、登録をバックアップするか、保存済みの登録を指紋ソフトウェアにインポートします。

[エクスポート...] ボタンをクリックして、別のコンピュータでの使用などのために登録をエクスポートします。選択した登録がエクスポートされるか、すべての既存の登録が同時にエクスポートされます。複数の登録を選択するには、Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら登録を選択します。エクスポート先ファイルを選択し、パスワードを入力します。このパスワードはこれらの登録をインポートする際に使用されます。パスワードバンクファイルのファイル拡張子は *.pb または *.xml です。

[インポート] ボタンをクリックしてパスワードバンクファイルから登録をインポートします。ソースの *.pb または *.xml ファイルを選択します。既存の登録をすべてインポートした登録と置換するか、インポートした登録を追加することができます。同じ名前の登録を追加した場合は、既存の登録とインポートした登録がどちらも維持されるように、自動的に名前が変更されます。エクスポート時に作成したパスワードを入力します。

5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

4.2.4. 設定

パスワードバンクを利用すると、指紋認証を使用して、保護されている Web サイトおよびダイアログにアクセスすることができます。

パスワードバンクの使用目的の選択

- ・ [Windows ダイアログ] チェックボックスを選択すると、パスワードバンクを使用して、標準の Windows アプリケーションの資格情報を格納できます。
- ・ Internet Explorer は常にサポートされており、このチェックボックスを使用してこのブラウザを使用可能または使用不能にできます。
- ・ Firefox ブラウザの場合は、プラグインのインストールが必要です。リンクをクリックしてインストールを開始します。Firefox をデフォルトのブラウザに設定する必要があります。プラグインのインストール後、Firefox をアップグレードすると、パスワードバンクプラグインに互換性がないことが通知され、新しいプラグインが提示されます。新しいプラグインを確認してインストールします。

パスワードバンクでは、ダイアログの登録やダイアログのリプレイなどの操作が可能な場合に、ユーザーにヒントが表示されます。ユーザーがユーザー名とパスワードを使用して Windows にログインする場合、これらのヒントは指紋認証に成功するまで有効になりません。

パスワードバンクのヒントをオンまたはオフにするには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。

3. [アプリケーション] - [パスワードバンク] - [設定] を選択します。

4. 確認メッセージの表示の選択：

- ・ 送信したフォームデータを記憶する必要があるかどうか。このオプションは、フォーム（Web ページまたはダイアログ上）の送信後にパスワードバンク登録を求めるダイアログを表示するかどうかを設定します。

通知メッセージの表示の選択：

- ・ 登録がリプレイされる。このヒントは、登録のリプレイが開始されようとしていることをユーザーに通知します。この通知は、同じフォームまたはダイアログの登録をさらに作成したい場合や、既に入力したデータを上書きしたくない場合に便利です。
- ・ ダイアログがリプレイ可能だった。このヒントは、登録をリプレイできることをユーザーに通知します。
- ・ ダイアログが登録に適している。このヒントは、ダイアログに登録可能なパスワードフィールドが含まれていることをユーザーに通知します。
- ・ Web サイトをリプレイ可能であった。このヒントは、登録をリプレイ可能であることをユーザーに通知します。
- ・ Web サイトが登録に適している。このヒントは、ページに登録可能なパスワードフィールドが含まれていることをユーザーに通知します。

4.3. ストロングパスワードジェネレータ

ストロングパスワードジェネレータを使用すると、辞書攻撃を受けにくい複雑なパスワードを生成できます。生成されたパスワードは保存されて必要に応じて使用されます。これらのパスワードは、指紋を使用して Web フォームに登録する際にも使用できます。

4.3.1. ジェネレータ

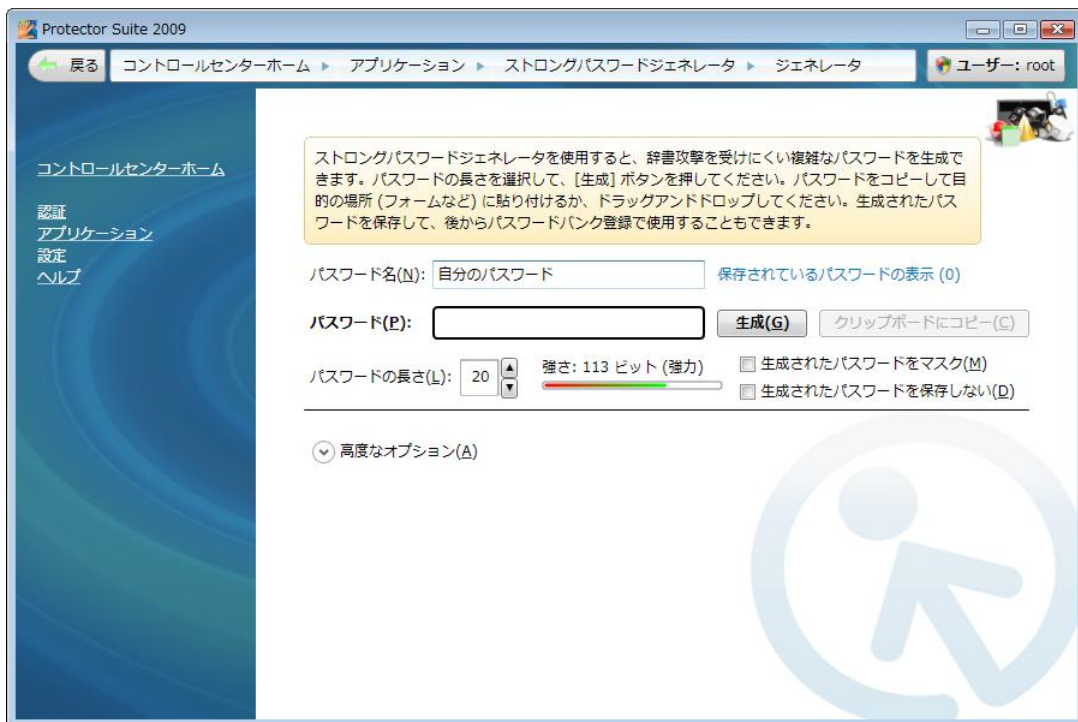
強力なパスワードを生成するには：

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
- ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。

2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。

3. [アプリケーション] - [ストロングパスワードジェネレータ] - [ジェネレータ] を選択します。



4. [パスワード名] フィールドに名前を入力します。

5. パスワードの長さを選択します。

生成されたパスワードがプレーンテキストで表示されないようにするには、[生成されたパスワードをマスク] チェックボックスを選択します。

パスワードを 生成されたパスワード ページで保存しない場合は、[生成されたパスワードを保存しない] チェックボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、すべての生成されたパスワードはこのページに一覧表示されます。

6. [生成] ボタンをクリックします。

7. これで、このパスワードをドラッグアンドドロップするか、[クリップボードにコピー] ボタンまたは右クリックメニューを使用してパスワードをクリップボードにコピーして、希望の場所に貼り付けることができます。

[高度なオプション] をクリックすると、より詳細な指定内容に従ってパスワードを生成できます。たとえば、特定の文字組み合わせからなるパスワードや 16 進数パスワードなどを生成できます。

注意

強度インジケータは、生成されるパスワードの強度を示します。強度を調整するには、パスワードの長さや詳細設定を変更します。

4.3.2. 生成されたパスワード

強力なパスワードの表示と管理を行います。生成時間、関連付けられた Web サイト、パスワードがいずれかのパスワードバンク登録で使われているかどうかを確認することができます。

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
 3. [アプリケーション] - [ストロングパスワードジェネレータ] - [生成されたパスワード] を選択します。
 4. 操作するパスワードを選択します。次のボタンをクリックします：

パスワードがプレーンテキストで表示されないようにするには、[パスワードフィールドをマスク] チェックボックスを選択します。

[クリップボードにコピー] ボタンまたは右クリックメニューを使用してパスワードをクリップボードにコピーして、希望の場所に貼り付けます。

[Web サイトに移動]。パスワードの生成対象となった Web サイトが表示されます。

[削除]。選択されたパスワードが削除されます。すべてのパスワードを選択するには、Ctrl+A キーを押します。
 5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

生成された複雑なパスワードを Web フォーム用に使用して、資格情報のセキュリティを強化できます。パスワードバンクを使用して、ログイン資格情報を登録し、指紋認証の後にリプレイできます。複雑なパスワードを記憶することなく、登録のセキュリティを高める強力で複雑なパスワードが得られます。指をスキャンするだけで、パスワードバンクによって登録がリプレイされます。

強力なパスワードをパスワードバンクに登録するには：

1. 強力なパスワードを生成します。ジェネレータを参照してください。
2. 登録する Web ページを表示します。
3. 指をスキャンして、バイオメトリックメニューを表示します。
4. メニューから [登録] を選択します。
5. 登録ウィザードが表示されます。
6. 既存の生成済みパスワードが自動的に検出されます。生成済みのパスワードを選択するか、既定として検出されたパスワードを使用します。
7. 残りの登録手順を登録ウィザードを使用して通常どおりに実行します。登録を確認する際に、[フォームの詳細] ページでパスワードを変更できます。
8. 登録を完了してテストします。
9. 資格情報は登録されているため、次回自動的にリプレイできます。

強力なパスワード登録をパスワードバンクでリプレイするには：

1. 登録した Web ページまたはアプリケーションを表示します。
2. (オプション) 既存の登録に関して通知するヒントが表示されます。
3. 指をスキャンします。

4.4. 暗号化アーカイブ

暗号化アーカイブを使用すると、指紋やバックアップパスワードによって個人的なファイルやフォルダを保護して、これらへの無許可アクセスを防止できます。

File Safe を使用すると、指紋やバックアップパスワードによって保護される重要なファイルやフォルダの暗号化アーカイブを作成できます。これらのファイルは、現在の場所に保持できると共に、File Safe アーカイブに追加することで指紋認証によって保護できます。

Personal Safe はデスクトップまたはマイ コンピュータ上の保護されたフォルダです。このフォルダにファイルをドロップまたはコピーすることで、ファイルを一箇所にまとめて指紋によって保護できます。



注意

アーカイブを作成する前に、指紋を登録してバックアップパスワードを設定する必要があります。登録されていない場合、ユーザーが選択されていないという警告が表示されます。指紋の登録方法については、指紋の登録 を参照してください。

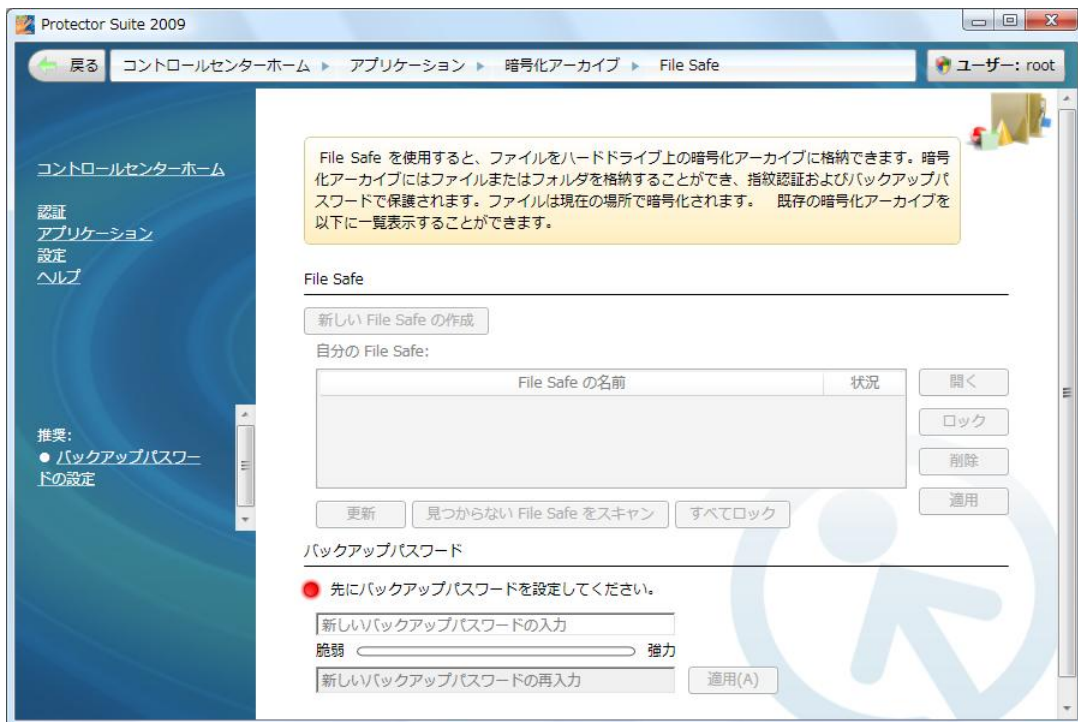
4.4.1. File Safe

File Safe を使用すると、ファイルをハードドライブ上の暗号化アーカイブに格納できます。暗号化アーカイブは、ファイルやフォルダを格納でき、指紋認証とバックアップパスワードによって保護されます。File Safe アーカイブがアンロックされている場合、アーカイブファイルでは標準のファイルと同様の操作（削除、コピー、ファイル名の変更など）を実行できます。ドラッグアンドドロップにも対応しています。アンロックされたアーカイブにファイルをコピーして貼り付けるかドラッグし、再びアーカイブをロックすると、ファイルは暗号化されます。アーカイブ内で 1 つのファイルだけが暗号化されており、そのファイルがアンロックされている場合、ファイルをクリックして起動できます。

4.4.1.1. File Safe の作成

新しい File Safe を作成するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [アプリケーション] - [暗号化アーカイブ] - [File Safe] を選択します。



4. バックアップパスワードが設定されていない場合は、パスワードを入力して「適用」をクリックします。バックアップパスワードの詳細情報を確認してください。
5. 「新しいアーカイブの作成」ボタンをクリックします。
6. 新しいアーカイブの名前を指定します。
7. これで、このアーカイブファイルを通常のフォルダと同じように操作（削除、コピー、名前変更など）できるようになります。ドラッグアンドドロップにも対応しています。アンロックされたアーカイブにファイルをコピーして貼り付けるかドラッグし、再びアーカイブをロックすると、ファイルは暗号化されます。
8. 「ロック」をクリックしてアーカイブをロックします。

i 注意

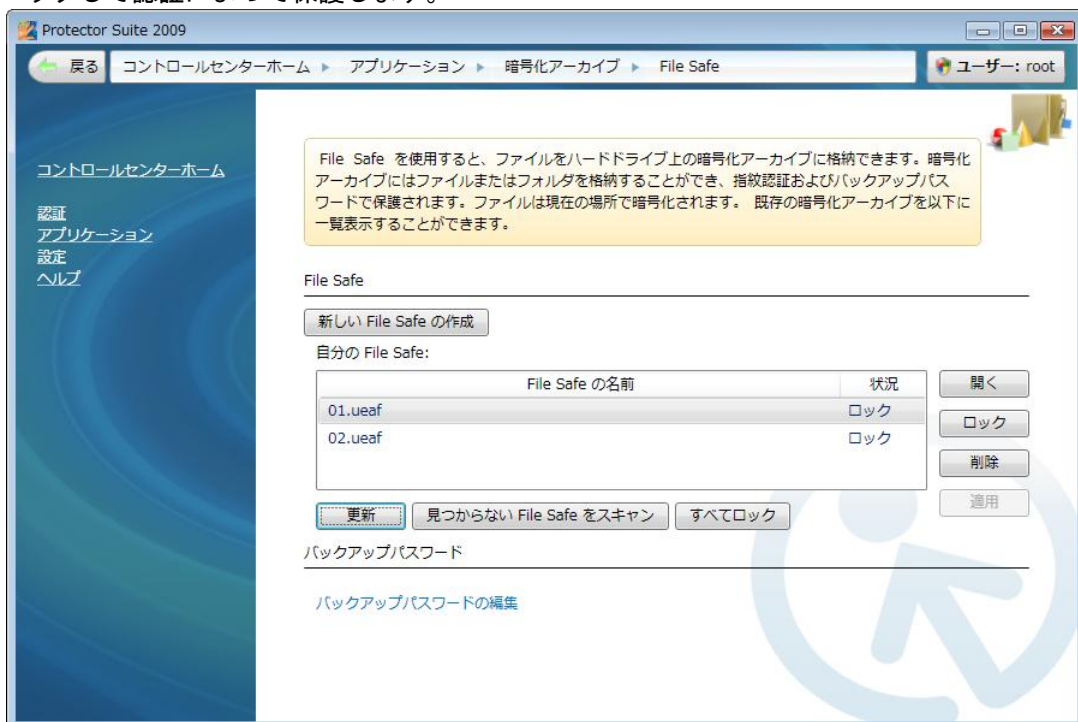
コンテキストメニューからアーカイブを作成または管理することもできます。Windows エクスプローラまたは他の Windows ダイアログで、暗号化するファイルまたはフォルダを表示して、右クリックしてコンテキストメニューを開きます。[新しい暗号化アーカイブに追加] を選択して、選択したファイルまたはフォルダを新しいアーカイブに追加します。

4.4.1.2. File Safe の管理

既存の File Safe を管理するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。

- ・ または指をスキャンして **バイOMETリックメニュー** を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。
2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。
 3. [アプリケーション] - [暗号化アーカイブ] - [File Safe] を選択します。
 4. 既存のアーカイブが一覧表示されます。任意の数のアーカイブを選択します。[開く]、[ロック]、または [削除] ボタンをクリックして、選択したアーカイブにその操作を適用します。コンテキストメニューからこれらの操作を実行することもできます。アーカイブを開いた場合は、そのアーカイブを通常のフォルダと同じように操作 (削除、コピー、名前変更など) できます。ドラッグアンドドロップにも対応しています。アーカイブの操作が完了したら、そのアーカイブをロックして認証によって保護します。



File Safe アーカイブの一覧を操作するには、次のオプションを選択します：

- ・ [更新]。指紋と関連付けられたすべての表示されたアーカイブの一覧を最新状態に更新します。
 - ・ [見つからないアーカイブをスキャン]。このオプションを選択すると、指紋に関連付けられていないアーカイブや、移動されたアーカイブを含めて、すべてのアーカイブが一覧表示されます。関連付けられていないアーカイブは、バックアップパスワードを使用して開くことができます。このオプションは、アーカイブの場所が不明な場合や、指紋パスポートを変更した場合に使用します。
 - ・ [すべてロック]。すべての一覧表示されたアーカイブを一度にロックします。
5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。



ティップ

ファイルやフォルダをファイル マネージャから直接追加するなど、アーカイブをコンテキストメニューから管理できます。Windows エクスプローラまたは他の Windows ダイアログで、

暗号化するファイルまたはフォルダを表示して、右クリックしてコンテキストメニューを開きます。[既存の暗号化アーカイブに追加...] を選択すると、選択したファイルやフォルダを既存のアーカイブに追加できます。詳細については、下記を参照してください。

既存の File Safe にファイルまたはフォルダを追加するには：

1. Windows エクスプローラまたはその他の Windows ダイアログを使用して、暗号化するファイルまたはフォルダを表示します。
2. ファイルおよび/またはフォルダを選択（マウスと Shift または Ctrl キーを使用）し、右クリックしてコンテキストメニューを表示します。
3. [既存の暗号化アーカイブに追加...] を選択します。



4. ファイルの保存先となるアーカイブを参照して選択します（拡張子が *.uea または *.ueaf のファイル）。
5. [開く] を選択します。
6. 認証を要求されます。
7. ファイルが暗号化されたら、元のファイルの取り扱いを選択するよう求めるダイアログが表示されます。
 - a. [元のファイルを削除] を選択すると、元のファイルは削除され、ファイルはアーカイブ内に暗号化された形式でのみ維持されます。
 - b. 削除するファイルをランダムな内容で上書きしてから削除するには、[ファイルをワイプしてから削除する] チェック ボックスを選択します。これにより、削除したファイルが回復されるのを防ぐことができます。
 - c. [元のファイルを維持] を選択すると、元のファイルは削除されず、暗号化アーカイブに保存されると同時に、暗号化されないまま元の場所にも残ります。
8. ファイルが暗号化された File Safe アーカイブに追加されます。

4.4.1.3. File Safe のロックとアンロック

File Safe をロックまたはアンロックするには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [アプリケーション] - [暗号化アーカイブ] - [File Safe] を選択します。
4. 既存のアーカイブが一覧表示されます。1 つまたは複数のアーカイブを選択します。[ロック] ボタンをクリックしてアーカイブをロックするか、[開く] ボタンをクリックしてアーカイブをアンロックします。

ティップ

コントロールセンター外の現在の場所でアーカイブをロックまたはアンロックすることもできます。Windows エクスプローラまたは他の Windows ダイアログで、ロックまたはアンロックするアーカイブを表示して、アーカイブファイル (*.uea または *.ueaf) を選択し、右クリックしてコンテキストメニューを開いて [ロック] または [アンロック] を選択します。

すべての File Safe アーカイブをロックするには：

1. 指をスキャンして、 バイオメトリックメニューを表示します。
2. メニューから [すべてのアーカイブをロック] を選択します。
3. すべてのアンロックされたアーカイブがロックされました。

4.4.1.4. File Safe 内のファイルの解読

暗号化アーカイブからファイルを削除するには、そのアーカイブをアンロック（File Safe のロックとアンロックを参照）してから、それらのファイルを通常のフォルダ内にある場合と同じように操作して、アーカイブから削除、コピー、またはドラッグできます。アーカイブ内のすべてのファイルを一度に解読して、指定された場所に格納する方法については、下記を参照してください。

File Safe 内のすべてのファイルまたはフォルダを一度に解読するには

1. 解読するアーカイブファイル (*.uea または *.ueaf) を選択して、右クリックしてコンテキストメニューを表示します。
2. [解読先を指定...] を選択します。・ ・



3. 解読したファイルの保存先となる場所を選択します。
4. 認証を要求されます。
5. ファイルが保存先の場所に解読されました。

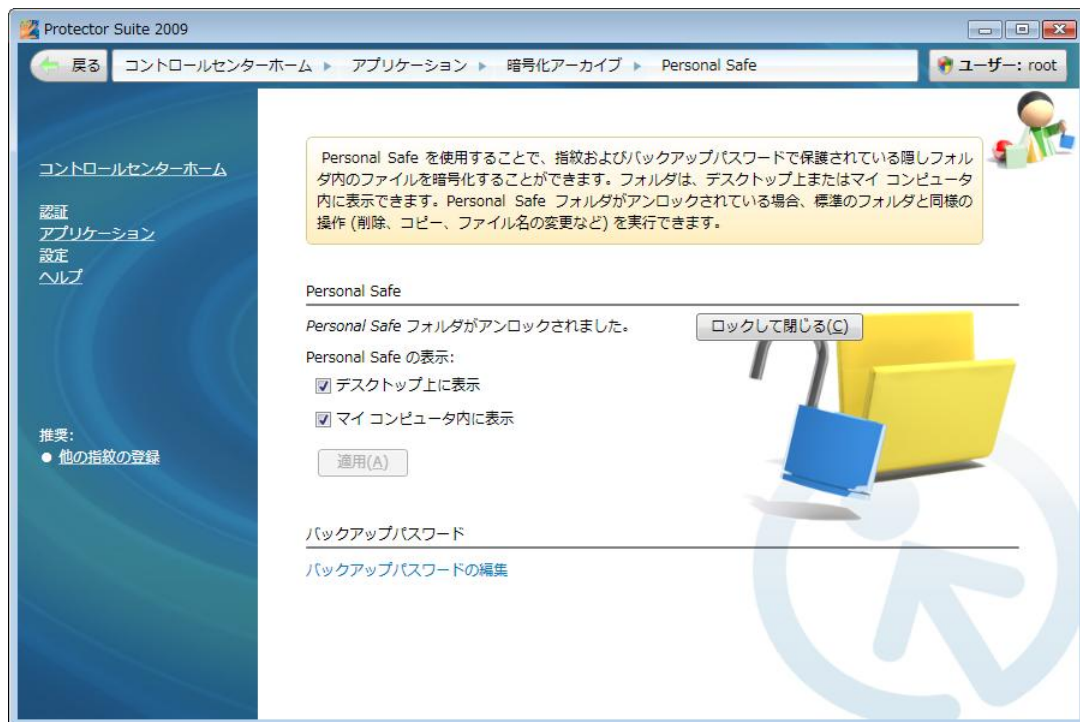
4.4.2. Personal Safe

Personal Safe を使用すると、保護されたフォルダ内のファイルを暗号化できます。フォルダは、デスクトップ上またはマイ コンピュータ内に表示できます。このフォルダは、コンピュータを共有している他のユーザーには表示されません。

Personal Safe フォルダがアンロックされている場合、標準のフォルダと同様の操作（削除、コピー、ファイル名の変更など）を実行できます。Personal Safe を操作するには、[アプリケーション] - [暗号化アーカイブ] - [Personal Safe] からコントロールセンターを起動するか、Personal Safe フォルダで右クリックしてコンテキストメニューを開きます。

Personal Safe をロックまたはアンロックするには

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [アプリケーション] - [暗号化・アーカイブ] - [Personal Safe ▪] を選択します。



4. バックアップパスワードが設定されていない場合は、パスワードを入力して「適用」をクリックします。バックアップパスワードの詳細情報を確認してください。
5. 「アンロックして開く」または「ロックして閉じる」ボタンをクリックします。

💡 ティップ

Personal Safe がロックされているのかアンロックされているのかを示す状況メッセージが表示されます。

ファイルを Personal Safe に追加するには

1. Personal Safe を開きます。コントロールセンターを起動するか（上記を参照）、フォルダを選択して右クリックし、コンテキストメニューを表示して、「ロック」または「アンロック」を選択します。
2. ファイルをフォルダにドラッグアンドドロップまたはコピーするか、ファイル（またはフォルダ）を選択して右クリックし、コンテキストメニューを表示して、「Personal Safe に追加」を選択します。

4.5. E-Wallet

生体認証に対応した E-Wallet を使用すると、すべての重要な個人情報（クレジットカード情報や口座番号など）を安全かつ簡単に保管できます。

ユーザーの個人情報は、常に手元に保持されて指紋認証によって安全に保護されます。

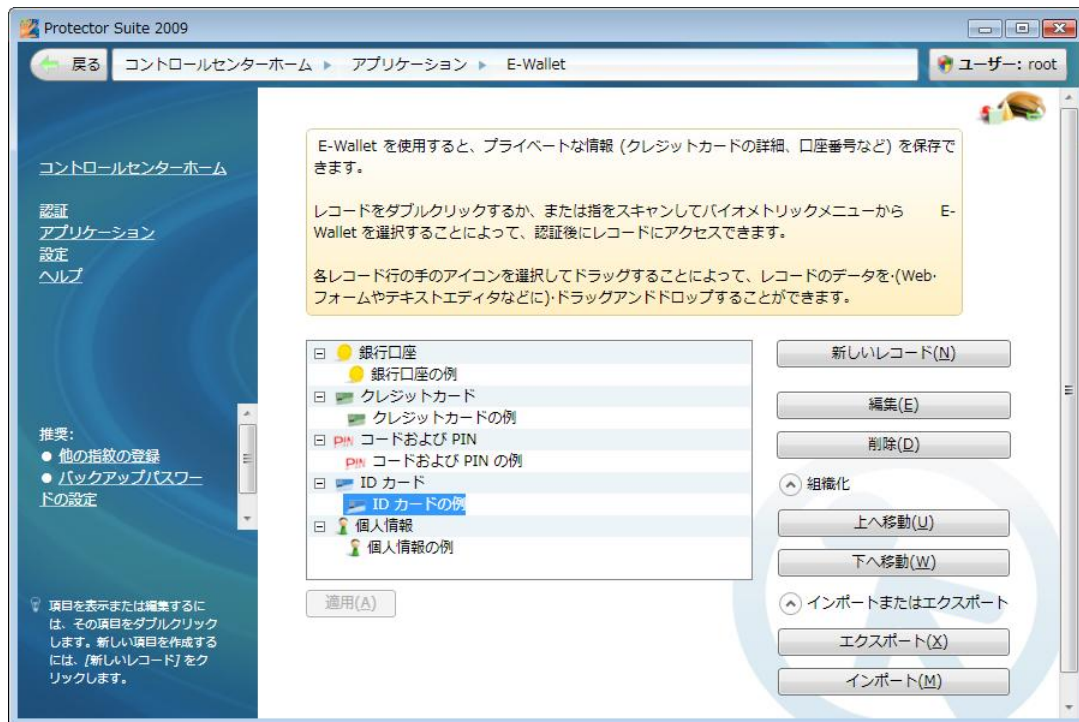
E-Wallet を使用すると、オンラインショッピング時などによく使用する個人情報をあらかじめ保存しておいて、複雑なフォームに簡単に入力することもできます。ユーザーのデータは、指紋認証で保護されたプロファイル（E-Wallet レコードの作成 を参照）に保存して、後で必要に応じてドラッグアンドドロップできます（Web フォームの入力時など）。

4.5.1. E-Wallet レコードの作成

既定のカテゴリを使用してデータをフォルダに分けて整理することも、新しいカスタムカテゴリを作成することもできます。すべての既定カテゴリにはサンプルが付属しています。このサンプルを開いて変更を加えることも、新しい E-Wallet レコードを作成することもできます（下記参照）。レコードにアクセスするには、レコードをダブルクリックして、指をスキャンして認証します。

💡 ティップ

「個人情報」を使用すると、複雑な Web フォームでよく使用する情報を保存するためのプロフィールを作成できます。



新しい E-Wallet レコードを作成するには

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
- ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。

2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。

3. [アプリケーション] - [E-Wallet] を選択します。

4. [新しいレコード] ボタンをクリックして、ドロップダウンメニューから既定のカテゴリを選択するか、[新しいカテゴリ...] を選択して、名前とアイコンを選択して独自の空のカテゴリを作成します。

5. レコードデータを入力または編集します：

- ・ レコードの名前を変更するには、[新しいレコード] 行に再入力します。
- ・ データを入力するには、値を選択して [値の編集] ボタンをクリックします。
- ・ タイトルを変更するには、[名前変更] ボタンをクリックします。
- ・ 新しい行を一覧の末尾に追加するには、[追加] ボタンをクリックします。
- ・ 選択した行を削除するには、[削除] ボタンをクリックします。

6. [適用] をクリックして変更内容を保存します。



注意

レコードにアクセスするには、指をスキャンして、 バイオメトリックメニューを表示して、 [E-Wallet] を選択します。

4.5.2. E-Wallet レコードの管理

E-Wallet レコードを管理するには

1. 次の順に選択します。

- ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
- ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します (次の手順はスキップします)。

2. 認証 (指をスキャンするかパスワードを入力) してから [送信] をクリックします。

3. [アプリケーション] - [E-Wallet] を選択します。

4. 操作するレコードを選択します。

- ・ 編集するには、そのレコードをダブルクリックして [編集] ボタンをクリックします。認証が必要です (指をスキャンします)。

レコードデータを入力または編集します：

- ・ データを入力するには、値を選択してダブルクリックするか、[値の編集] ボタンをクリックします。
- ・ タイトルを変更するには、[名前変更] ボタンをクリックします。
- ・ 新しい行を一覧の末尾に追加するには、[追加] ボタンをクリックします。
- ・ 選択した行を削除するには、[削除] ボタンをクリックします。
- ・ [組織化...] をクリックして、[上に移動] または [下に移動] ボタンをクリックすると、レコードを一覧内で上下に移動して、フォルダに分けて整理できます。
- ・ [インポート] または [エクスポート] をクリックすると、レコードをバックアップしたり、保存済みのレコードを指紋ソフトウェアにインポートしたりできます。

- ・ [エクスポート...] ボタンをクリックすると、別のコンピュータでの使用などのためにレコードをエクスポートできます。次にエクスポート先のファイルを選択します。E-Wallet ファイルの拡張子は *.xml です。
- ・ [インポート...] ボタンをクリックすると、E-Wallet ファイルから登録をインポートできます。

5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

4.5.3. E-Wallet を使用したフォーム入力

E-Wallet を使用すると、あらかじめ保存しておいたデータを使用して、複雑なフォームに簡単に入力できます。ユーザー名とパスワードなどのシンプルな資格情報を登録するには、パスワードバンクアプリケーションを使用してください。ログイン資格情報の登録方法については、Web ページとダイアログの登録を参照してください。

強力な複雑なパスワードを作成するには、ストロングパスワードジェネレータを使用することを検討してください。

E-Wallet を使用してフォームに入力するには：

1. まず、[コントロールセンター] - [アプリケーション] - [E-Wallet] を選択して、自分のプロファイル情報が含まれた E-Wallet レコードを作成する必要があります。詳細については、E-Wallet レコードの作成を参照してください。
2. 登録するフォームが含まれた Web ページを表示します（オンラインショップの登録フォームなど）。
3. 指をスキャンして バイオメトリックメニューを表示して、[E-Wallet] を選択します。
4. 使用するレコードを選択するか（[個人情報] - [マイブックストアプロファイル] など）、[E-Wallet 全体を表示] を選択して [E-Wallet] ページを表示します。
5. すべてのレコードの詳細が示されたページが表示されます。各アイテムの前の手型のアイコンをドラッグして、フォームフィールドまたは希望の場所にドロップします。



注意

E-Wallet を使用すると、登録ウィザードを実行するときにフォームフィールドに入力することもできます。

認証後にレコードにアクセスするには、そのレコードをダブルクリックするか、指をスキャンしてバイオメトリックメニューから [E-Wallet] を選択します。



ティップ

バイオメトリックメニューで [E-Wallet] - [E-Wallet 全体を表示] を選択すると、コントロールセンターに表示されるのと同じように E-Wallet アプリケーションが表示されます。

4.6. バイオメトリックメニュー

バイオメトリックメニューは、指紋ソフトウェアの機能および設定にすばやくアクセスできるポップアップメニューです。



指紋認証によって別の操作（登録済みページのリプレイなど）が実行される場合に バイオメトリックメニュー を表示するには、Shift キーを押しながら指をスキャンします。

マウスか、センサーを使ってメニューを操作します。センサーを使用する場合は、指を動かして バイオメトリックメニュー を操作して、強調表示された項目をタップして対応する操作を実行します。

- ・ バイオメトリックメニュー を表示するには、登録済みの指をスキャンします。
- ・ [コンピュータをロック]。コンピュータをすばやくロックできます。コンピュータを再びアンロックするには、指をスキャンします。
- ・ [登録済みサイト]（オプション）。パスワードバンクによって登録された Web ページを一覧表示します。既定の Web ブラウザで登録済みページを表示し、データを入力するには、この一覧で目的の Web ページ名をクリックします。この一覧の表示方法は、設定で編集できます。
- ・ [登録...]（オプション）。新しいウィンドウ（Web ページまたはダイアログ）を登録します。パスワードバンクの登録の詳細については、次の項目を参照してください。パスワードバンク
- ・ [E-Wallet]。E-Wallet レコードにすばやくアクセスできます。・ 使用するレコードを選択するか（[個人情報] - [マイブックストアプロファイル] など）、[E-Wallet 全体を表示] を選択して [E-Wallet] ページを表示します。
- ・ [Personal Safe をアンロックして開く/ロック]（オプション）。Personal Safe フォルダにアクセスできます。
- ・ [ストロングパスワードジェネレータ]。ストロングパスワードジェネレータ ページを開きます。このページでは、強力で複雑なパスワードを作成して、クリップボードにコピーできます。
- ・ [すべてのアーカイブをロック]（オプション）。現在開いているすべての File Safe アーカイブをロックします。このアイテムは、2 つ以上のアーカイブがアンロックされている場合にのみ表示されます。
- ・ [トークンコード...]（オプション）。トークンコードジェネレータを表示します。トークンコードジェネレータは、セキュリティトークンを選択し、そのトークンを使用してトークンコードを生成することができる簡単なダイアログです。
- ・ [コントロールセンター開始...]。コントロールセンターを表示します。

- ・ [ヘルプ]。HTML ヘルプを表示します。状況依存の HTML ヘルプを表示するには、ヘルプを表示するダイアログボックスで F1 を押します。

第5章 設定

〔設定〕ページからは、Protector Suite 2009 を設定するためのさまざまなオプションにアクセスできます。ここで説明する〔設定〕の一部の機能は表示されない場合があります。使用できる機能は、インストールされている Protector Suite 2009 のバージョンや、現在のユーザーの管理権限によって異なります。Windows Vista で〔編集〕ボタンが表示されている場合は、個別の設定ページで変更を加える前に、このボタンをクリックして浮き上がらせる必要があります。



5.1. Windows ログオン

指紋ログオンを有効にするには、指紋を登録する必要があります（指紋の登録を参照）。ユーザー登録時に、指紋サンプルがスキャンされ、指紋サンプルと Windows ユーザーアカウントが関連付けられます。コンピュータを再起動し再度ログオンするときは、指をスキャンすると自動的にログオンします。

指紋ログオンは、指紋の登録後に自動的に設定されます。

生体認証ログオンではまた、スクリーンセーバーと節電機能からの復帰が保護されます（パスワードでスクリーンセーバーからのレジュームが保護され、システムはスタンバイに設定されます）。

ログオン設定を変更するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [Windows ログオン] を選択します。



4. ログオンタイプを選択します：

[標準の Windows ログオン]。指紋ログオンは無効になり、標準の Windows ログオンを使用してシステムにログオンします。

- ・ [指紋ログオン]。Windows パスワードの代わりに指紋を使用してシステムにログオンできます。

[Windows パスワードによるログオンのスキップを許可する]。このオプションを選択した場合、標準の Windows ログオンを使用できます。選択しなかった場合は、管理者のみがユーザー名とパスワードを使用してログオンできます。

- ・ (Windows XP のみ) [ユーザーの簡易切り替えの有効化]。Windows のユーザーの簡易切り替え機能にも対応しています。指紋をスキャンするだけで、ユーザーを切り替えることができます。

- ・ [パワーオンセキュリティの有効化]。このチェックボックスを選択すると、指紋によって BIOS レベルで認証を実行できます。詳細については、 [パワーオンセキュリティ](#) を参照してください。

[ブート前に指紋認証を行い、Windows に自動的にログオンできるようにする]。このチェックボックスを選択すると、起動時に認証に成功した後に Windows に自動的にログインでき、Windows ログオンで再び認証する必要はありません。

5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

5.1.1. パワーオンセキュリティ

パワーオンセキュリティ機能は、ユーザーのコンピュータへの無許可アクセスを BIOS レベルで防ぎます。パワーオンセキュリティが有効なコンピュータは、指紋認証に成功しない限りハードドライブからオペレーティングシステムを起動しません。

コンピュータの起動時に、ユーザーは指紋認証を求められます。指をセンサーでスキャンする時間は限られています。コンピュータは、スキャンされた指紋が指紋デバイスのメモリに格納されているサンプルに一致する場合のみ起動します。認証に成功すると、起動プロセスが通常どおり続行されます。

5.2. ストレージインスペクタ

指紋デバイス内データ管理は、指紋センサーデバイスに保存されたデータを表示および編集するためのツールです。デバイス中のレコードがすべて表示されます。各指の説明が、Protector Suite 2009 でのその指の使用法に関する情報と共に表示されます。

指紋をデバイスから削除するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [ストレージインスペクタ] に移動します。
4. 削除するレコードを選択して [指の削除] ボタンをクリックします。削除すると、レコードの一覧にも反映されます。
5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。



注意

指紋を削除するための許可は、セキュリティポリシー設定で指定されます（ [ポリシー](#) を参照）。一部の権限は管理者のみに制限される場合があります。

5.3. スキンの選択

Protector Suite 2009 の外観を選択するには

新しいスキンを使用して Protector Suite 2009 が再起動されます。スキンをさらに変更するには、同じ手順を繰り返して希望のスキンを選択します。

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [スキンの選択] に移動します。
4. メニューからスキンを選択します。
5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。
6. [はい] をクリックしてアプリケーションを再起動します。新しいスキンを適用するには、アプリケーションを再起動する必要があります。

5.4. 音声

選択した音声は、指紋の操作が成功または失敗したときに再生されます。既定のシステム音声を使用したり、音声を無効にしたりすることができます。また、任意のオーディオ ファイル（.wav 形式）を参照することもできます。

Protector Suite 2009 の音声を選択するには

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して、[コントロールセンター開始...] を選択します（次に手順をスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [音声] に移動します。
4. [なし] を選択して音声をオフにするか、[システムデフォルト] を選択して既定の音声进行操作に割り当てたままにするか、[カスタム] を選択して独自のオーディオファイル（.wav 形式）を参照します。
5. [適用] をクリックして変更内容を保存します。

5.5. スクロール

マウスホイールの代わりに指紋センサーを使用して、バイオメトリックメニュー や任意の Windows アプリケーションをスクロールできます。

スクロールのオンとオフを切り替えるには、[センサーのスクロール機能] オプションを システムトレイアイコン で選択するか、スクロール切替ホットキーを押します。

[センサーのスクロール機能] を選択すると、トレイアイコンが変化し、スクロール機能がオンであることが示されます。＊このホットキーは、Protector Suite 2009 のインストール後に既定で設定されないため、使用する場合は手動で設定する必要があります（下記を参照）。

スクロール機能とスクロール切替ホットキーを設定するには：

- 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
- 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
- [設定] - [スクロール] に移動します。
- スライダを動かして設定を調整します。
 - ・ [速度]。スライダを動かして、スクロールの速度を調節します。これにより、センサー上で指を動かしたときにカーソルがどれくらい移動するかが設定されます。
 - ・ [加速度]。スライダを動かして、スクロールの加速度を設定します。センサー上で指を速く動かすほど、スクロールも速くなります。
 - ・ スクロール切替ホットキーを設定するには、[スクロール切替ホットキー] フィールドにフォーカスを置きます。スクロール機能のオン/オフを切り替えるのに使用するキーを押します。ホットキーがこのフィールドに表示されます。ホットキーを変更するには、別のキーを押します。
- [適用] をクリックして変更内容を保存します。

5.6. 更新

更新プログラムが使用可能な場合は、[ダウンロード] ボタンをクリックして、指紋ソフトウェアの最新バージョンを取得してください。更新プログラムの自動チェックが設定されている場合は、コントロールセンターが開始されるたびに新しい更新のチェックが実行されます。

更新を設定するには：

- 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]

- ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
 3. [設定] - [更新] に移動します。
 4.
 - ・ [更新状況]。現在のソフトウェアの状態を通知します。新しいバージョンの Protector Suite 2009 が提供されている場合は、[ダウンロード] ボタンをクリックして更新プログラムを取得します。
 - ・ [更新プログラムのチェック]。[今すぐ更新プログラムを確認] ボタンをクリックして、最新の更新プログラムが提供されているかどうかを手動でチェックするか、[更新プログラムを自動的にチェックします] チェックボックスを選択して、状況メッセージを最新状態に保ちます。コントロールセンターが開始されるたびに、新しい更新プログラムの有無がチェックされます。 >
 - ・ [適用] をクリックして変更内容を保存します。

5.7. 詳細設定

セキュリティポリシー、生体認証セキュリティ、およびパフォーマンスに関する詳細なオプションを設定します。

詳細設定を開くには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [詳細設定] に移動します。

5.7.1. ポリシー

ポリシー設定は、管理者と制限付きユーザーに対して異なる内容で設定できます。ポリシーを有効または無効にするには、[はい] または [いいえ] を選択します。

登録

- ・ [自分自身を登録する]：現在ログオンしているユーザーが指紋を登録することを許可します。
- ・ [他のユーザーを登録する]：他のユーザーが指紋を登録することを許可します。有効な Windows アカウントを持つユーザーのみ登録できます。

- ・ [自分自身を編集する] : 現在ログオンしているユーザーの指紋パスポートを編集 (登録済み指紋の追加や削・除など) することを許可します。・
- ・ [他のユーザーを編集する] : このコンピュータに登録されている任意のユーザーの指紋パスポートを編集 (登録済み指紋の追加や削除など) する・ことを許可します。
- ・ [自分自身をインポートする] : 現在ログオンしているユーザーの指紋パスポート・をインポートすることを許可します。
- ・ [他のユーザーをインポートする] : このコンピュータに登録されている任意のユーザーの指紋パスポートをインポートすることを許可します。・
- ・ [自分自身をエクスポートする] : 現在ログオンしているユーザーの指紋パスポート・を・エクスポートすることを許可します。
- ・ [他のユーザーをエクスポートする] : このコンピュータに登録されている任意のユーザーの指紋パスポートをエクスポート・トすることを許可します。
- ・ [自分自身を削除する] : 認証後に、現在ログオンしているユーザーの指紋パス・ポ・ートを削除することを許可します。
- ・ [他のユーザーを削除する] : このコンピュータに登録されている任意のユーザーの指紋パス・ポートを削除することを許可します。パスポートを削除する前に認証は必要ありません。
- ・ Windows パスワードの公開 ユーザーの Windows パスワードを公開します。
- ・ [設定へのアクセス時に常にユーザーを認証する] : コントロール・センター内の設定にアクセスするとき、ユーザー・は常に認証を要求されます。
- ・ [自己登録のためのログオン] : 限定ユーザーに対してパスワードログオンが無効になっているときに、登録されていない限定ユーザーがパスワードを使用してログオンできるようにします。

指紋デバイス内データ管理

- ・ [指紋デバイス内データ管理を使用する] : 指紋デバイス内データ管理を使用することを許可します。ユーザーは自分自身の指紋のみを削除できます (1 つ以上の登録済み指紋を残す必要があり・るため、最後・の指紋は削除できません)。
- ・ [任意の指紋を削除する] : デバ・イスから任意の指紋を削除することを許可します (このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります)。
- ・ [使用されていない指紋を削除する] : 過去のインストール内容などから、ローカルで登録されているどのユーザーにも属さない指紋レ・コードを削・除することを許可します。(このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります)。
- ・ [他のユーザーの指紋を削除する] : 他のユーザー・の・指紋を削除することを許可します。ただし、各ユーザーに対して 1 つ以上の指紋を残す必要があります (このポリシーを有効にするには、[指紋デバイス内データ管理を使用する] ポリシーが有効になっている必要があります)。

パワーオンセキュリティ

- ・ [パワーオンセキュリティに指紋を追加する] : 登録時に指紋をパワーオンセキ・ュ・リティに追加することを許可します。無効にした場合、登録した指紋をパワーオンセキュリティ認証に使用することはできません。

5.7.2. 生体認証の設定

Protector Suite 2009 は、2 つのセキュリティレベルで運用できます。・いずれかを選択することで、指紋のスキャンと登録済みサンプルがどれくらい正確に一致する必要があるかを設定します。

- ・ 簡易モードのレベル。セキュリティと便利さのバランスを保つ生体認証処理の既定のレベルです。
- ・ 保護モードのレベル。利便性よりもセキュリティのほうが・重要な場合に使用します。このレベルでは、セキュリティは最大限に高まりますが、スキャンした指紋が登録済みの指紋サンプルと完全に一致する必要があるため、許可されたユーザーであっても何度も認証に失敗することがあります。

5.7.3. センサーの調整（オプション）

この機能を使用すると、指紋センサーを調整できます。この機能は、指のスキャンがうまくいかない場合に使用します。この機能は、登録済み指紋サンプルやアプリケーションのデータには影響を与えません。

△ 重要項目

調整中は、センサーに触れないでください。

お使いのセンサーでサポートされている場合は、[センサーを調整...] ボタンをクリックすると、調整ダイアログが開きます。[調整] ボタンをクリックし、調整が完了するまで待機します。センサーが正しく機能していない場合には、調整を使用できます。

5.7.4. 信頼されたプラットフォームモジュール TPM（オプション）

このページは、サードパーティ製の TPM 管理アプリケーションが検出されると表示されます。TPM の初期化により、複数要素機能による TMP セキュリティモジュールの使用を有効化します。複数要素方式の詳細については、[複数要素](#) を参照してください。

TPM モジュールを初期化するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして [バイオメトリックメニュー](#) を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [設定] - [詳細設定] - [TPM] に移動します。
4. [初期化] ボタンをクリックします。
5. この操作が成功したかどうかを示すダイアログが表示されます。
6. [OK] をクリックします。

第6章 他のツール

このセクションでは、Protector Suite 2009 を使用する上で役に立つ 指紋チュートリアル などの他のツールについて説明します。

6.1. 指紋チュートリアル

指紋チュートリアルを実行することを強くお勧めします。このチュートリアルでは、指紋スキャンの正しい方法と間違った方法を実演した短いアニメーションが再生されます。スキャン方法を練習するために、自分の指紋サンプルを作成してみてください。

指紋に関するチュートリアルを実行するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して、[コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
2. [チュートリアル] リンクをクリックするか、認証（指をスキャンするかパスワードを入力）して、[送信] をクリックし、[ヘルプ] - [チュートリアル] に移動します。
3. アニメーションを参照して、正しいスキャン手順に従います。右側では、指のスキャンを練習できます。

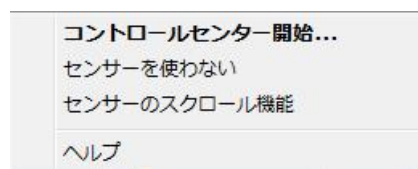


4. 次の指示に従って指を正しくスキャンします：

- ・ 指の第 1 関節をセンサー中央部に当てます。
- ・ センサー上に 1 本の指を水平に置きます。
- ・ センサーでスキャンしている間、指を上げないでください。
- ・ 指を動かすとき、最後に手首をひねって指の側面をセンサーに向けないでください。
- ・ 指紋のサンプルを作成してください。

6.2. システムトレイアイコン

システムトレイの Protector Suite 2009 アイコンはプログラムが実行中であることを示し、指紋認証を必要としない機能へのアクセスを提供します。アイコンを右クリックして、メニューを表示します。



トレイアイコンアイテム：

- ・ [コントロールセンター開始...]。Protector Suite 2009 のメインダイアログを開きます。このダイアログでは、ほとんどの機能とアプリケーションを管理して、ソフトウェア設定を変更できます。
- ・ [センサーを「使わない」] / [センサーを使う]。
 - ・ 指紋デバイスを、別のアプリケーションで
 - ・ 使用するために Protector Suite 2009 から一時的に取り外し可能にします。このコマンドによって、現在のユーザーセッションから一時的にデバイスが解除されます（デバイスは一度に 1 つのアプリケーションでしか使えません）。
- ・ [センサーのスクロール機能]。[センサーのスクロール機能] を選択すると、トレイアイコンが変化し、スクロール機能がオンであることが示されます。スクロール切り替えホットキーは、Protector Suite 2009 のインストール後に既定で設定されないため、スクロールの設定で設定する必要があります。スクロールを無効にするにはチェックをオフにします。
- ・ [ヘルプ]。Protector Suite 2009 の完全なヘルプを表示します。特定ページの状況依存ヘルプを表示するには、ヘルプが必要なページで F1 キーを押します。

⚠ 重要項目

[センサーを使わない] オプションを選択した場合は、指紋認証は行われません。この機能は、他の生体認証アプリケーションの開発者などの上級ユーザー専用です。

6.3. ヘルプの使用

Protector Suite 2009 には、HTML 形式のヘルプシステムが組み込まれています。

💡 ティップ

トレイアイコンを右クリックして [ヘルプ] を選択することも、指をスキャンして バイオメトリックメニューを表示して、[ヘルプ] を選択することもできます。

状況依存のヘルプを表示するには：

- ・ ヘルプが必要なページで F1 キーを押してヘルプを表示します。
- 1. [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター] に移動します。
- 2. [ヘルプ] リンクをクリックするか、認証（指をスキャンするかパスワードを入力）して、[送信] をクリックし、[ヘルプ] - [ヘルプ] に移動します。

6.4. 紹介画面

[はじめに] 画面は、登録されている指紋がない場合にセンサーに触れる则表示されます。この画面には、Protector Suite 2009 製品ツアーへのリンクと指紋登録へのリンクがあります。

後で製品ツアーにアクセスするには：

- ・ 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...] を選択します。
 - ・ または指をスキャンして バイオメトリックメニュー を表示して [コントロールセンター開始...] を選択します（次の手順はスキップします）。
- ・ 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
- ・ [ヘルプ] - [製品ツアー] に移動します。

6.5. 指紋読み取り装置の情報パネル

指紋読み取り装置の情報パネルには、センサーと指紋読み取りのテストウィンドウに関する情報が含まれます。ハードウェアで問題が発生した場合は、このダイアログでセンサーに関する詳細を確認して、テクニカルサポートなどに問い合わせることができます。

指紋読み取り装置の情報パネルを表示するには：

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。
2. [指紋センサー] をクリックします。[指紋読み取り装置の情報パネル] ダイアログが表示されます。
 - ・ [バージョン] タブを選択して、センサーに関する情報（デバイスのタイプ、名前、バージョンなど）を表示します。情報をテキストファイルにエクスポートするには、[保存] をクリックして、ファイルの保存先を選択します（既定では FingerprintSensorVersion.txt）。
 - ・ [指紋のテスト] タブを選択して、指のスキャンを試行する際のテストイメージを参照します。
3. [閉じる] をクリックしてダイアログウィンドウを閉じます。

6.6. 他のユーザーの管理

管理者は、Protector Suite 2009 内の他のユーザーを管理できます。新規ユーザーを設定または削除したり、ユーザーのデータを削除、インポート、またはエクスポートしたりできます。

他のユーザーを管理するには：

1. 次の順に選択します。
 - ・ [スタート] - [すべてのプログラム] - [Protector Suite] - [コントロールセンター]
 - ・ またはトレイアイコンを右クリックし、[コントロールセンター開始...]を選択します。
 - ・ または指をスキャンして **バイオメトリックメニュー** を表示して [コントロールセンター開始...]を選択します（次の手順はスキップします）。
2. 認証（指をスキャンするかパスワードを入力）してから [送信] をクリックします。
3. [認証] に移動して、[他のユーザーの管理...] リンクをクリックします。

または

ナビゲーションバーの横のユーザーボタンをクリックします。
4. ユーザーを選択して、メニューのボタンをクリックして操作を選択します。